

# I'D S

CE 0082

EN12841 : 2006  
EN341 : 1997

EAC  
TP TCO19/2011

ANSI / ASSE Z359.4

Patented

(EN) Self-braking descender / belay device  
(FR) Descendeur assureur autofreinant



EN 1891 A



10 ≤ Ø ≤ 11.5 mm



533 g

## WARNING

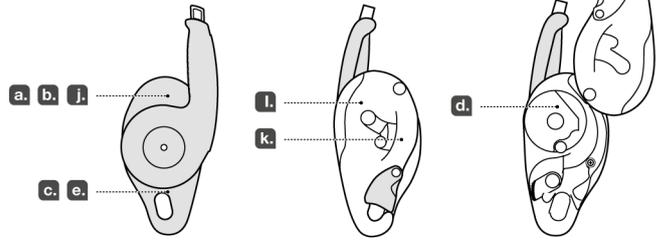
Activities involving the use of this equipment are inherently dangerous. You are responsible for your own actions and decisions.

- Before using this equipment, you must:
- Read and understand all instructions for Use.
  - Get specific training in its proper use.
  - Become acquainted with its capabilities and limitations.
  - Understand and accept the risks involved.



**FAILURE TO HEED ANY OF THESE WARNINGS MAY RESULT IN SEVERE INJURY OR DEATH.**

## Traceability and markings / Traçabilité et marquage



CE 0082

- a. Body controlling the manufacture of this PPE  
b. Notified body that carried out the CE type examination

Apave Sudeurope SAS  
5 rue Jean-Jacques Vernez  
Z.A.C. Saumaty-Séon - CS 60193  
13322 MARSEILLE CEDEX CEDEX 16  
N°0082

- c. Traceability: **datamatrix** = product reference + individual number

- d. Rope diameter

e. Serial number

YY M 0000000 000

- f. Year of manufacture  
g. Month of manufacture  
h. Lot number  
i. Individual identifier

- j. Standards

- k. Carefully read the instructions for use

- l. Model identification

Warning symbols  
Panneaux d'alertes



PETZL  
ZI Cidex 105A  
38920 Crolles  
France  
Tel: +33-(0)4 76 92 09 00

ISO 9001  
© Petzl  
Made in France



Sustaining our Community  
Au service de la Communauté  
FONDATION-PETZL.ORG

## NFPA CERTIFICATION FOR I'D S

D20 S

THIS I'D S MEETS THE AUXILIARY EQUIPMENT REQUIREMENTS OF NFPA 1983, STANDARD ON FIRE SERVICE LIFE SAFETY ROPE AND EQUIPMENT FOR EMERGENCY SERVICES, 2012 EDITION.

Belay Device  
Descent control  
device type 3

MBS 14 kN  
T (TECHNICAL USE)  
MEETS NFPA 1983 (2012 ED.)



Emergency Services Descent Control Device and Belay Device  
In Accordance with NFPA 1983-2012. Also in Accordance with ANSI/ASSE Z359.4-2013

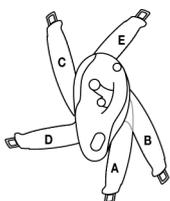
This I'D S has passed the minimum breaking strength and holding load test using the following rope : [STERLING, 3/8" HTP static, P105] and [Bluewater, 7/16" Spec-Static rope, 540700]

After removing the Instructions for Use from the equipment, make a copy of it and keep the original as part of a permanent record that includes the usage and inspection history for the equipment. Keep the copy of the Instructions for Use with the equipment and refer to it before and after each use. Additional information regarding auxiliary equipment can be found in NFPA 1500, Standard on Fire Department Occupational Safety and Health Program, and NFPA 1983, Standard on Fire Service Life Safety Rope and System Components.

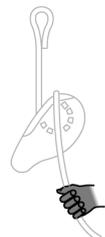
1. Field of application (text part)  
Champ d'application (partie texte)

2. Nomenclature  
Nomenclature

Terminology: / Terminologie :



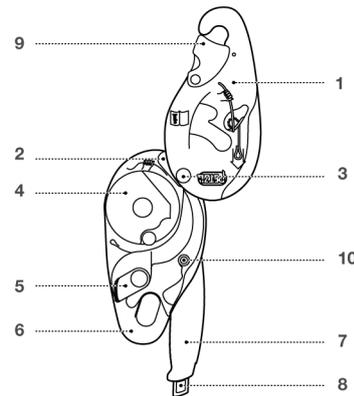
Handle positions  
Positions de la poignée



Brake hand  
Main de freinage



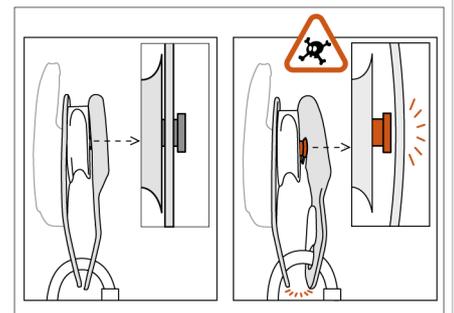
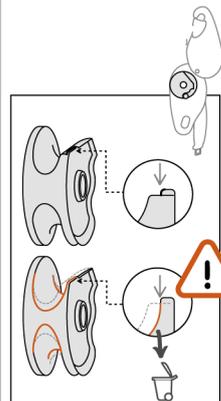
Braking side of the rope  
Corde côté freinage.



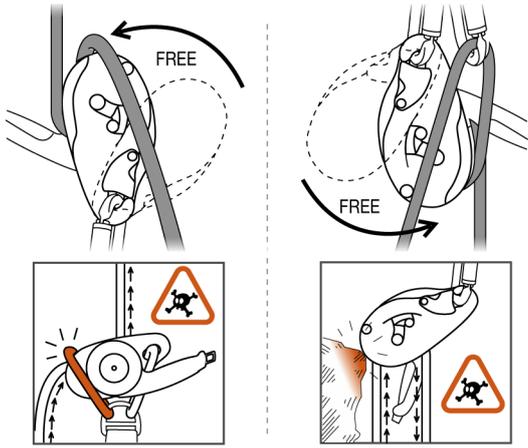
3. Inspection, points to verify  
Contrôle, points à vérifier



PPE checking  
Vérification EPI  
PETZL.COM

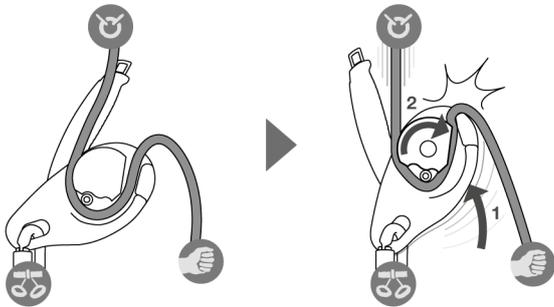


**3. Inspection, points to verify**  
Contrôle, points à vérifier

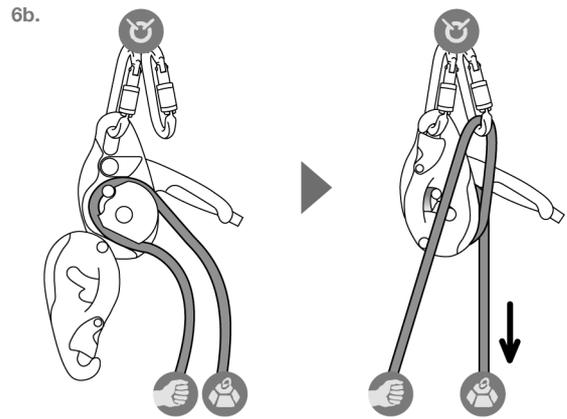
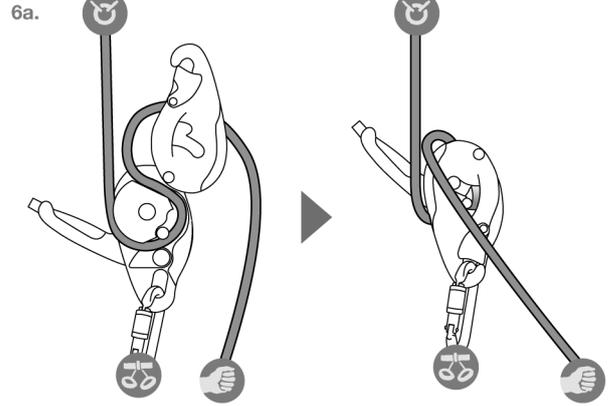


**4. Compatibility (text part)**  
Compatibilité (partie texte)

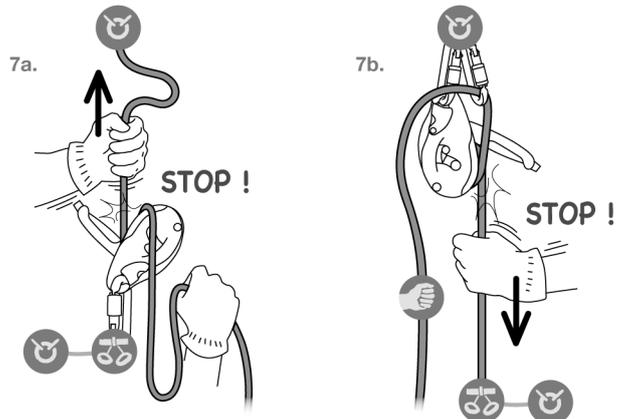
**5. Working principle**  
Principe de fonctionnement



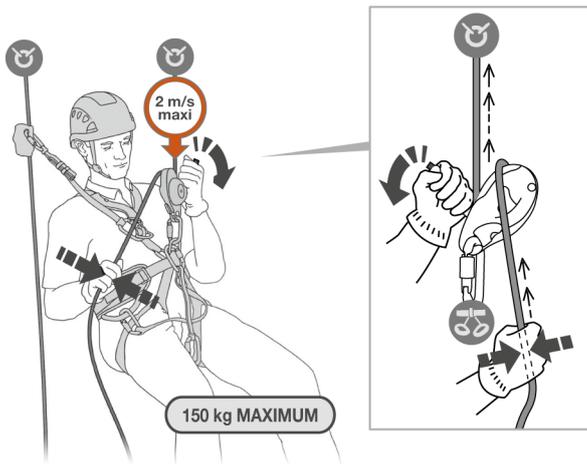
**6. Installing the rope**  
Mise en place de la corde



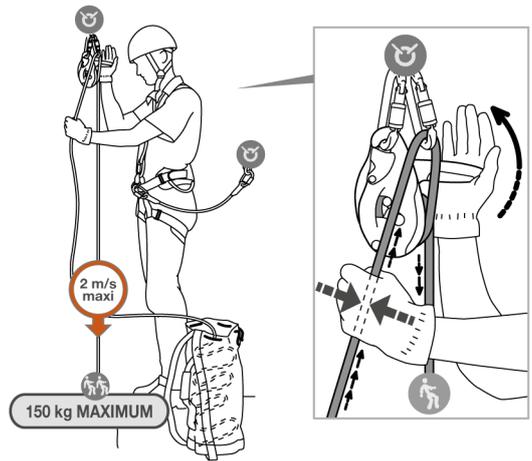
**7. Function test**  
Test de fonctionnement



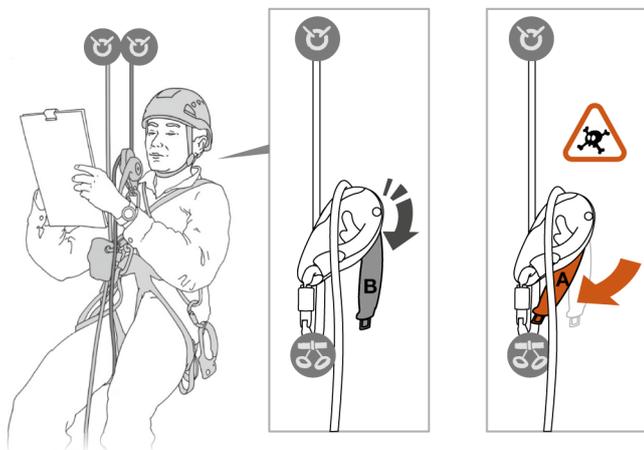
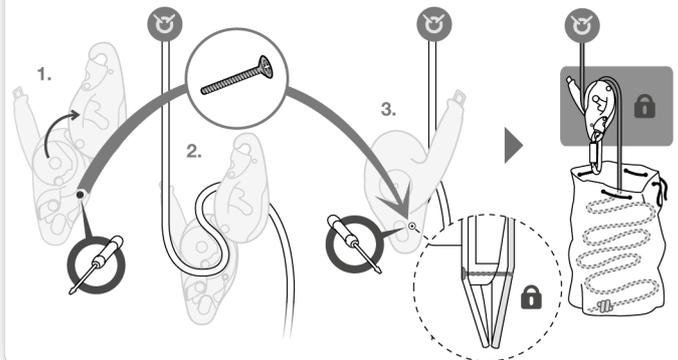
8. EN 12841: 2006 Type C  
EN 12841 : 2006 Type C



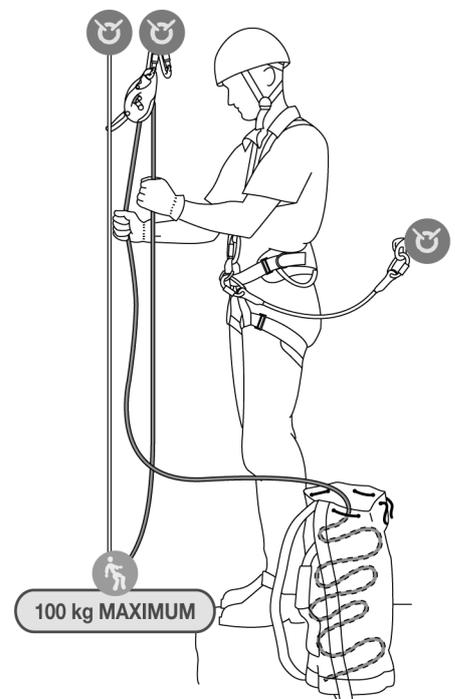
9. EN 341 class A (1997) Rescue evacuation  
EN 341 classe A (1997) Secours évacuation



Rescue kit  
kit de secours



10. Belaying  
Contre assurance : 100 kg



11. ANSI Additional information (text part)  
Informations normatives ANSI (partie texte)

**12. Additional information**  
Informations complémentaires

**A. Lifetime / Durée de vie**



**B. Acceptable T°**  
T° tolérées



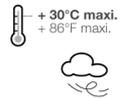
**C. Precautions for use / Précautions d'usage**



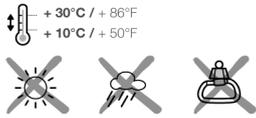
**D. Cleaning / Nettoyage**



**E. Drying / Séchage**



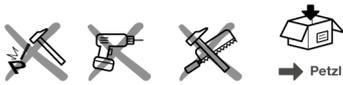
**F. Storage - Transport**  
Stockage - transport



**G. Maintenance**  
Entretien



**H. Modifications - Repairs**  
Modifications - Réparations



**I. FAQ - Contact**  
Questions - Contact



本書では、製品の正しい使用方法を説明しています。技術や使用方法については、いくつかの例のみを掲載しています。製品の使用に関連する危険については、警告のマークが付いています。ただし、製品の使用に関連する危険の全てをここに網羅することはできません。最新の情報や、その他の補足情報等は「Petzl.com」で参照できますので、定期的に確認してください。警告および注意事項に留意し、製品を正しく使用する事は、ユーザーの責任です。本製品の誤使用は危険を増加させます。疑問点や不明な点は（株）アルテリア（TEL 04-2968-3733）にご相談ください。

## 1.用途

本製品は複数の用途に使用できます。本製品は繰り返し使用できます。

### セルフブレーキ下降器/ピレイ器具

本製品は個人保護用具 (PPF) です。使用荷重: 150 kg。

### ロープアジャストにおいての下降:

ロープアジャストメントデバイス (EN 12841 タイプ C 適合)。

### 要救助者のレスキュー:

レスキュー用ディッセンダー (EN 341:1997 タイプ A 適合)。

### ピレイ

本製品の限界を超えような使用をしないでください。また、本来の用途以外での使用はしないでください。

## 責任

### 警告

**この製品を使用する活動には危険が伴います。ユーザー各自が自身の行為、判断、および安全の確保についてその責任を負うこととします。**

使用前に必ず:

- 取扱説明書をよく読み、理解してください
- この製品を正しく使用するための適切な指導を受けてください
- この製品の機能とその限界について理解してください
- この製品を使用する活動に伴う危険について理解してください

**これらの注意事項を無視または軽視すると、重度の傷害や死につながる場合があります。**

この製品は使用方法を熟知して責任能力のある人、あるいはそれらの人から目の届く範囲で直接指導を受けられる人のみ使用してください。ユーザー各自が自身の行為、判断、および安全の確保について責任を負い、またそれによって生じる結果についても責任を負うこととします。各自で責任がとれない場合や、その立場にない場合、また取扱説明の内容を理解できない場合は、この製品を使用しないでください。

## 2.各部の名称

(1) 可動サイドプレート、(2) フリクションプレート、(3) ヒンジ、(4) カム、(5) 誤操作防止用キャッチ、(6) 固定サイドプレート、(7) ハンドル、(8) 緩傾斜用ボタン、(9) ゲート、(10) サイドプレートおよびゲートを固定するためのスクリュアハンドルポジション、(a) 収納時、(b) ワークポジショニング、(c) 下降、(d) パニックロック、(e) ピレイ用語: 末端側のロープ = 下降器から出ている両端のロープの内、支点や要救助者、クライマーに接続されていない側のロープ。主な素材: アルミニウム合金 (サイドプレート)、ステンレススチール (カム、誤操作防止用キャッチ)、ナイロン (ハンドル)。

## 3.点検のポイント

器具の状態は、ユーザーの安全に大きく関係します。ペツルは、十分な知識を持つ適任者による詳細点検を、少なくとも12ヶ月ごとに行うことをお勧めします (国や地域における法規や、使用状態によっても変わります)。Petzl.com で説明されている方法に従って点検してください。点検の結果を記録してください。点検記録に含める内容: 種類、モデル、製造者の連絡先、個別番号、製造日、購入日、初回使用時の日付、次回点検予定日、問題点、コメント、点検者の名前および署名。

### 毎回、使用前に

ひび割れや変形、腐食がないことを確認してください。

- カムの磨耗具合を確認してください。カムの溝が磨耗し、インジケータの箇所まで減った場合は、そのIDの使用を中止してください (図参照)
- 可動サイドプレートに変形やゆるみがないことを確認してください: カムの軸の頭がサイドプレートの内側に入ってしまう場合は、その製品の使用を中止してください (図参照)
- 固定パーツ (ゲート、スクリュウ、軸) の状態を点検し、カム、ゲート、及び誤操作防止用キャッチのスプリングが正しく機能することを確認してください。カムの動きに問題がないことを確認してください。
- 緩傾斜用ボタンを押し、指を放すとボタンが戻ることを確認してください (ハンドルはポジション c の位置)

### 使用中の注意点

この製品および併用する器具 (連結している場合は連結部を含む) に常に注意を払い、状態を確認してください。全ての構成器具が正しくセットされていることを確認してください。
警告: 死の危険: 器具およびその部品 (カム、誤操作防止用キャッチ等) の機能が妨げられないようにしてください。ID に異物が入らないように注意してください。器具の動きが妨げられると、ブレーキ機能が正常に作動しません。器具に衝撃荷重がかかるのを避けるため、ロープ (器具と支点の間) はたるませず、常にテンションがかかった状態を保つ必要があります。

## 4.適合性

この製品がシステムの中のその他の器具と併用できることを確認してください (併用できる = 相互の機能を妨げない)。ID S と併用する器具は、使用する国における最新の規格に適合していません (例: ヨーロッパにおけるコネクターの規格 EN 362)。

### ロープ

メーカーが推奨する直径および種類の繊維製ロープを使用してください。直径や種類が推奨のものとは異なるロープを使用すると、器具の性能、特にブレーキの働き具合に影響します。警告: 使用するロープによってはロープが流れやすい場合があります (新しいロープ、直径の細いロープ、濡れているまたは凍っているロープ等)。

## 5.機能の原理

ロープが引かれる (テンションもしくはは壁落) と、ID がカラビナを軸に動き (1)、カムがロープを挟み込む (2) ことによりブレーキがかかります。末端側のロープをしっかり握ることで、カムのブレーキ機能を補助します。

## 6.ロープのセット方法

ロッキングカラビナを使用して ID S をハーネスや支点にセットしてください。可動サイドプレートを開きます。ハンドルをポジション (c) の位置まで動かし、カムを開きます。器具に刻印された図に従ってロープをセットします。ロッキングカラビナにクリップされた状態で可動サイドプレートを閉じ、ゲートをロックします。警告: 可動サイドプレートを閉じた時に、可動サイドプレートがカムの軸およびカラビナとかがみ合っていない場合があります。

### 6A.ハーネスへの取り付け

### 6B.支点への取り付け

末端側のロープをカラビナに通して折り返し、摩擦を増やして使用しなければなりません。警告: ロープが逆にセットされている場合、誤操作防止用キャッチがロープを止める働きをしますが、全ての誤操作を防ぐことはできません。

## 7.機能の確認

毎回、使用前に、ロープが正しくセットされていること、器具が正しく機能することを確認してください。このテストは必ずバックアップをとった状態で行ってください。

### 7A.ハーネスへの取り付け

支点側のロープを引き、ロープにブレーキがかかることを確認してください。ロープにブレーキがかからない場合は、ロープが正しくセットされているか確認してください。器具にゆっくりと体重をかけてください (ロープを張った状態、ハンドルポジションは c)。片手で末端側のロープを握り、もう片方の手でゆっくりとハンドルを引いてロープを流してください。

- 下降できる = ロープが正しくセットされている
- 下降できない = ロープの通し方を確認してください (誤操作防止用キャッチによりロープがロックされています)

ハンドルを放すと、器具によりロープに制動がかかります。警告: それでも器具が機能しない (ロープが滑ってしまう) 場合は、使用を止め廃棄してください。

### 7B.支点への取り付け

荷重がかかる方のロープを引き、ロープにブレーキがかかることを確認してください。ロープにブレーキがかからない場合は、ロープが正しくセットされているか確認してください。警告: 末端側のロープをカラビナで折り返していないと、ロープを逆にセットした場合に誤操作防止用キャッチが作動しません。警告: それでも器具が機能しない (ロープが滑ってしまう) 場合は、使用を止め廃棄してください。

## 8.EN 12841:2006 タイプ C

EN 12841:2006 に適合した下降器 ID S はタイプ C の、手動アジャストメントデバイスで、作業ロープの下降に使用します。ID S は、ロープでの下降の速度をコントロールを可能にし、またハンドルを放すとロープ上で止まることのできるセルフブレーキデバイスです。EN 12841:2006 タイプ C の要求事項を満たすためには、EN 1891 タイプ A に適合した直径 10〜11.5 mm のセミスティックロープを使用する必要があります。 (図説テストでは、150 kg のおもちゃベアール『Antipodes』およびベアール『Ginkgo 10 mm』が使用されました)

### 8A.下降

### 1人での使用

ハーネスに器具をセットし、ハンドルポジション c の状態で使用します。下降速度は、末端側のロープの握り具合でコントロールします。下降を開始するには、ゆっくりとハンドルを引いてください。末端側のロープから絶対に手を放さないでください。

下降を停止するには、ハンドルから手を放します。パニックになったとき: ハンドルが強引引かれると (ハンドルポジション d)、パニック防止機能が働き、ロープに制動がかかります。下降を再開するには: まずハンドルをポジション c の位置まで戻してパニック防止機能を解除し、それからゆっくりとハンドルを引いてください。

### 緩傾斜用ボタン

緩傾斜の場所を移動する場合や荷重が小さい場合、パニック防止機能が簡単に作動してしまいます。スムーズに下降するためには、緩傾斜用ボタンを使用してください。

-垂直方向に下降する場合は、緩傾斜用ボタンを使用しないでください。

### 8B.ワークポジショニング - 安全に停止する

作業位置で停止し、両手を放した状態でのワークポジショニング姿勢をとるためには、ハンドルを下降時とは反対方向に (ポジション b まで) 回転させてロープをロックします。ワークポジショニングでは、ハンドルは必ずこの位置にセットされなければなりません。ハンドルがポジション b (ワークポジショニング) で止まったら、それ以上力を加えないでください。ロープがセットされた状態でハンドルをポジション a (収納時) の位置まで動かさないでください。器具が故障し、ブレーキ機能が損なわれるおそれがあります。ロックを解除するには、末端側のロープをしっかり握り、ハンドルを下降のポジションに戻します。

### EN 12841 規格に関する情報

**注意: 下降器 ID S は必ず、下降に使用する作業ロープとは別のバックアップロープにセットされたタイプ A 適合のバックアップ器具 (例: ASAP 等) と併用してください。**

ID S は、EN 363 に準じたフォールアレストシステムでの使用には適していません。下降器は必ず、EN 362 に適合したロッキングカラビナを使用して、ハーネスに直接連結してください。この製品と併用する全ての用具は、それぞれ該当する最新の規格に適合してなければなりません。作業用ロープにテンションをかけている時に、バックアップ用ロープにはテンションがかかっていないことを確認してください。動的に過度な荷重がかかると、バックアップ用ロープが損傷する可能性があります。

## 9.EN 341 クラス A (1997) レスキュー

最長下降距離: 200 m

使用荷重: 30 ~ 150 kg

### 支点にセットした状態からのロワーダウン

器具を支点にセット: 末端側のロープは必ずカラビナで折り返してください。末端側のロープを握り、ハンドルを上動かして (ハンドルポジション c) ロープを流してください。ブレーキの強さは末端側のロープの握り具合でコントロールします。セルフブレーキ機能を作動させるには、ハンドルを放してください。器具にかかる荷重が小さすぎるとパニック防止機能が簡単に作動してしまう場合は、緩傾斜用ボタンを使用してください。

### EN 341 規格に関する情報

-必ずロープの末端にストッパーノットを結んでください

- 器具を常設する場合は、自然の影響から器具を保護する必要があります
- 下降中にコントロールを失わないようにし、適度な速度で下降してください
- 警告: 下降中に器具が過熱し、ロープにダメージを与える場合があります

### レスキューキット

## 10.ピレイ: 100 kg

警告: 間違いがあった場合 (ロープが逆に通された場合)、この使用方法では誤操作防止用キャッチは作動しません。器具を支点にセット (ハンドルポジション e): ピレイヤーは片方の手で末端側のロープを握り、もう一方の手でセカンド側のロープを握ります。こまめにロープを引き、たるませないようにしてください。壁落を止めるためには、末端側のロープをしっかり握ってください。セカンドクライマーをロワーダウンするときの操作は、「支点にセットした状態からのロワーダウン」欄内で説明している方法に従ってください。

## 11.ANSI 規格に関する情報

-最長下降距離: 200 m

-取扱説明書は、製品と一緒にユーザーに提供されなければなりません

-併用する全ての用具の取扱説明書をよく読み、理解してください

- 製品の点検は取扱説明書および製品の点検用フォームにあるメーカーの推奨事項に沿って行ってください
- レスキューで使用する支点は、少なくとも 13.8 kN の静荷重もしくはシステムにかかる荷重の 5 倍の荷重に耐えうる強度を有している必要があります
- レスキューにおいて、フォールアレストに使用する支点は ANSI Z359.1 規格の要求事項に適合している必要があります
- レスキューの作業中にシステムが偶発的に動かない方法で、器具を支点に連結する必要があります実際に全荷重をかける前に、テンションをかけて確認してください
- レスキューを行うにあたっては、ANSI Z359.4 および Z359.1 を参照してください
- レスキュープラン: ユーザーは、この製品の使用中に問題が生じた際にするやみかに対処できるように、レスキューとそれに必要となる装備をあらかじめ用意しておく必要があります
- 警告: 複数の器具を同時に使用する場合、1 つの器具の安全性が、別の器具の使用によって損なわれることがあります
- 電源や稼動中の機械類の近く、表面がざらざらしている、または尖ったものや化学物質の近く、極端な低/高温下で作業する場合は十分注意してください
- 下降時が生じるエネルギーは、下降距離、ユーザーの質量、重力加速度の積と等しくなります

## 12.補足情報

-ユーザーは、この製品の使用中に問題が生じた際にするやみかに対処できるように、レスキュープランとそれに必要となる装備をあらかじめ用意しておく必要があります

- システム用のアンカーは、ユーザーの体より上にとるようしてください。アンカーは、最低でも 12 kN の強度を持ち、EN 795 の要求事項を満たしてなければなりません
- フォールアレストシステムでは、壁落した際に地面や障害物に衝突することがないように、毎回使用前に十分なクリアランスがユーザーの下に確保されていることを確認する必要があります
- 壁落距離を短くし、危険を少なくするため、アンカーが適切な位置に設置されていることを確認してください
- フォールアレストシステムで身体をサポートに使用できるのは、フォールアレストハーネスのみです
- 複数の器具を同時に使用する場合、1 つの器具の安全性が、別の器具の使用により損なわれることがあります
- 警告: 危険: 製品がざらざらした箇所や尖った箇所をこすれないように注意してください
- ユーザーは、高所で活動が行える良好な健康状態にあることが必要です
- 警告: ハーネスを着用して動きの取れない状態のまま吊り下げられると、重度の傷害や死に至る危険があります
- 併用する全ての用具の取扱説明書をよく読み、理解してください
- 取扱説明書は、製品と一緒にユーザーの手に届かなければなりません。また、取扱説明書は製品が使用される国の言語に訳されていない場合があります
- 製品に記されたマーキングが読めなくならないように注意してください

#### 廃棄基準:

警告: 極めて異例な状況においては、1 回の使用で損傷が生じ、その後使用不能になる場合があります (劣悪な使用環境、海に近い環境での使用、鋭利な角との接触、極端な高/低温下での使用や保管、化学薬品との接触等)。以下のいずれかに該当する製品は以後使用しないでください:

- 大きな壁落を止めた。あるいは非常に大きな重荷がかかった
- 点検において使用不可と判断された製品の状態に疑問がある
- 完全な使用履歴が分からない
- 該当する規格や法律の変更、新しい技術の発達、また新しい製品との併用に適さない等の理由で、使用には適さないと判断された

このよな製品は、以後使用されることを避けるため廃棄してください。

### A.アイコン:

**A. 耐用年数 (特に設けていません) - B. 使用温度 - C. 使用上の注意 - D. クリーニング - E. 乾燥 - F. 保管/持ち運び - G. メンテナンス - H. 改造/修理 (パーツの交換を除き、ベッセルの施設外での製品の改造および修理を禁じます) - I. 問い合わせ**

### 3年保証

原材料および製造過程における全ての欠陥に対して適用されます。以下の場合には保証の対象外とします: 通常の磨耗や傷、酸化、改造や改変、不適切な保管方法、メンテナンスの不足、事故または過失による損傷、不適切または誤った使用方法による故障。

## 警告のマーク

1.重傷または死につながるおそれがあります。2.事故や怪我につながる危険性があります。3.製品の機能や性能に関する重要な情報です。4.してはいけない内容です。

## トレーサビリティとマーキング

a.この個人保護用具の製造を監督する公認機関 - b.CE 適合評価試験公認機関 - c.トレーサビリティ: データマトリクスコード = 個別番号 - d.直径 - e.個別番号 - f.製造年 - g.製造月 - h.ロット番号 - i.個人識別番号 - j.規格 - k.取扱説明書をよく読んでください - l.モデル名